



「ワイルドツアー」



「きみの鳥はうたえる」

三宅唱監督スペシャルナイト

「ワイルドツアー」「きみの鳥はうたえる」& 三宅監督トーク

山口市で実施された滞在型映画制作プロジェクトにて、三宅唱が地元の中高生とともに完成させた映画『ワイルドツアー』（札幌初公開）と、函館を舞台に、3人の若者が過ごすかけがえのない日常を捉えた映画『きみの鳥はうたえる』を同時上映します。また、三宅唱による舞台挨拶も行います。

日時 | **11月29日(金)** 19時台で上映予定

※正式な上映時間は、11/19(火)にシアターキノホームページにて発表します。

上映予定時間 | 3時間30分(休憩あり) 三宅唱による舞台挨拶あり

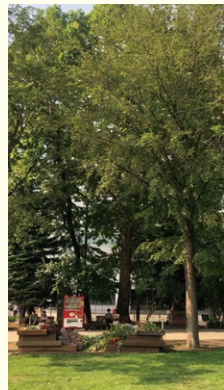
共催 | シアターキノ

料金 | 一般前売 1500円(当日1800円) / キノ会員前売 1200円(当日1500円)

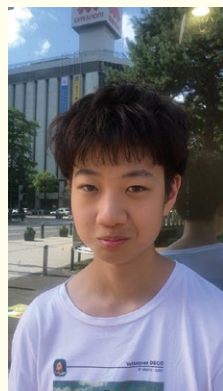
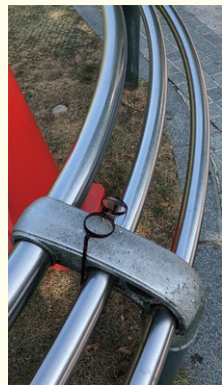
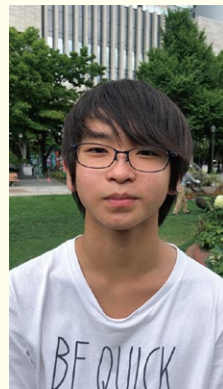
※前売り券は10月26日からシアターキノで発売いたします。※お席分の前売り券が売り切れましたら、当日券の発売はございません。

※特別上映につき、招待券・パス券はお使いになれません。

詳細・問い合わせ | シアターキノ(札幌市中央区狸小路6丁目南3条グランドビル2F TEL.011-231-9355) <https://www.theaterkino.net/>



7月32日
July 32, Sapporo park



++A&T

++A&T 2019 を振り返る会

2019年度の ++A&T では、三宅唱と乙女電芸部の二組を招聘してそれぞれのプロジェクトを行いました。この取り組みを振り返り、アートとテクノロジーとの関わりや可能性、今後の展開について考えるトークイベントを開催します。

日時 | **2020年3月21日(土)** 14:00 ~ 16:00

会場 | SCARTS コート(札幌市民交流プラザ1F) 入場無料

登壇者 | 三宅唱、矢島佳澄(乙女電芸部)、今野恵菜(乙女電芸部)、岩田拓朗(SCARTS テクニカルディレクター)

[お問い合わせ]

札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

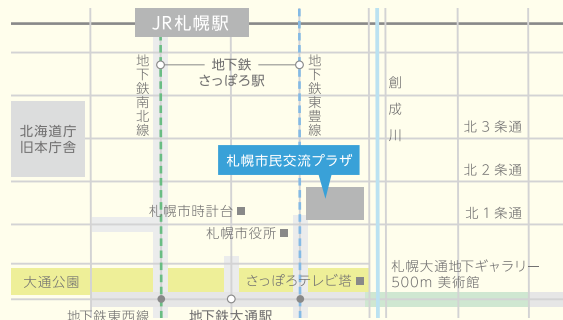
札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ 2F

TEL. 011-271-1955(9時~17時)

<https://www.sapporo-community-plaza.jp/scarts.php>

[交通のご案内]

地下鉄「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結



会期 | **11月28日(木) ~ 12月15日(日)**

時間 | 10:00 ~ 19:00 入場無料

会場 | SCARTS モール(札幌市民交流プラザ 2F)

主催 | 札幌文化芸術交流センター SCARTS

後援 | 札幌市、札幌市教育委員会

協力 | 市立札幌大通高等学校 市立札幌藻岩高等学校 シアターキノ

ブラブラット

++A&T 01

三宅 唱 × SCARTS × 札幌の高校生たち

7月32日 July 32, Sapporo park

++A&T – SCARTS ART & TECHNOLOGY Project – (ブラブラット)は、アーティストや研究者、SCARTS、そしてワークショップ等に参加してくれる子ども達とともに、創作する「場」をつくっていくプロジェクトです。毎回「テクノロジー」に関わるテーマを設定した上で、コラボレーションを行っています。今回は「映像」をテーマに、札幌出身の映画監督・三宅唱を迎えました。夏まっさかりの7月末、札幌の高校生とともに4日間にわたって行ったワークショップでは、スマートフォンのカメラを使い、さまざまな風景を発見し、捉えました。このワークショップに参加した高校生によるショートムービーと、三宅による彼らのポートレート、そして三宅の捉えた札幌の風景による映像インスタレーションが、SCARTS モールに出現します。



高校生たち | 秋山航也 池田エミリ 岩間航平 大橋美空 小笠原助 佐々木力也 柴田亜莉彩 順毛悠斗 鈴木友萌 富樫健太 吉野颯真 (50音順)



これは2019年7月32日に札幌中心地の公園で起きた出来事を捉えた記録である。

どうやら公園とは予想外なことが起きる場所らしい。思い返せば2000年、大通公園でデートをしていたらその一部始終を友人たちに目撃されていて恥ずかしかった。2001年、朝一の回で映画館に行き、大通公園のベンチでお昼を食べていたら婦警に補導され、映画の余韻が台無しになった。2002年サッカーW杯の年、大通公園で友人とボールを蹴っているとアルゼンチン人とイングランド人のサポーターが混ざってきたので楽しく遊んでいたら、その姿がタ方のニュースで流れ、授業をサボっていたことがバレた。

2004年の春に札幌を出た。それから15年という時間が流れている。公園の風景は、微妙だが決定的に変わっている。とはいえ、時折帰省しているので郷愁のようなものは正直特にない。失われた風景があるはずだが、かつてそこに何があったか思い出せる気もしない。その代わり、といえいいだろうか、新たに今日の前にある風景を発見しようと思った。それも、今もこの街に暮らす高校生たちと共に。「発見」がカメラや映画の役割である。彼らと「発見」に集中しているうち、ふと気がつく7月32日に突入していた。やはり公園では予想外なことが起きる。

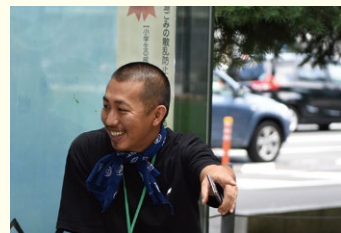
とにかく、たしかにこんな一日が存在した。そしてこんな日は二度とやってこないだろう。ビデオを回していたおかげで「7月32日の高校生」が記録できた。ラッキーだ。

SCARTSモールに出現するインスタレーション空間に一步足を踏み入れれば、「7月32日の公園」にタイムスリップすることができる、はず。この公園は世界中のあらゆるところで出現する可能性があるが(まるで100年に一度だけスコットランドの霧の中に出現するという幻の村「ブリガドーン」のように、あるいは日本昔話で語られる山奥の謎の村のように)、SCARTSでの出現はこの期間1度きりだ。大きな窓の外にひろがる冬の景色も、この作品の一部だと言いたい。ぜひ窓際に立って、冬の景色を眺めながら夏の音に耳を委ねてみてほしい。きっと、幻の公園にトリップできる。

ここは公園だから、通り過ぎるもよし、ぼんやりと景色を眺めるもよし、だらりと昼寝するもよし。ぜひデートスポットにしてみたいと思う。公園は誰のものでもあり、誰のものでもない。どうか気ままに。

三宅 唱

ARTIST



三宅 唱(みやけ・しょう)

1984年北海道札幌市生まれ。一橋大学社会学部卒業、映画美学学校フィクションコース初等科修了。2010年初長編『やくたたず』ののち、12年劇場公開1作目『Playback』を発表、同作はロカルノ国際映画祭インターナショナルコンペティション部門に正式出品された他、高崎映画祭新進監督グランプリ、日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞を受賞した。14年音楽ドキュメンタリー『THE COCKPIT』、17年オリジナル時代劇『密使と番人』を監督。18年佐藤泰志原作の映画化作品『きみの鳥はうたえる』を発表、同作はベルリン国際映画祭フォーラム部門に正式出品にされた他、キネマ旬報主演男優賞(柄本佑)を受賞するなどした。同年、山口情報芸術センター【YCAM】製作の映画『ワイルドツアー』と初のビデオインスタレーション作品「ワールドツアー」を発表した。

参加者募集中！

WORK SHOP

「映画のワンシーンを監督してみよう！」

三宅唱による映像ワークショップを開催します。本作に使われるショートムービーは、高校生たちと行ったワークショップ時に撮影されたものです。ワークショップを通して、カメラの面白さ、映画をつくることの面白さを発見してみませんか。

日時 | 12月7日(土)・8日(日)
10:00 ~ 18:00

会場 | SCARTSスタジオ(札幌市民交流プラザ2F)

対象 | 13 ~ 25歳(先着順)、2日間参加可能な方

人数 | 12名

持ち物 | 昼食、飲み物

注意事項 | 屋外で撮影をおこなう場合があります。
防寒対策をお願いします。

■ 申込先 : c.watanabe@sapporo-caf.org (担当 | 渡部)

件名に「三宅唱ワークショップ参加希望」と明記し、①名前(ふりがな) ②性別、③年齢、④当日ご連絡先(携帯番号)を記載のうえ、上記のメールアドレスへお申し込みください。

■ 申込期間 : 11月6日(水) ~

応募結果については、メールでお知らせいたします。迷惑メール設定をされている方はc.watanabe@sapporo-caf.orgからのメールを受信できるように設定解除をお願いいたします。

